

## 今年のサンマは去年を上回りそう マイワシの資源は安定して活用できそう 専門家らが来遊を予測

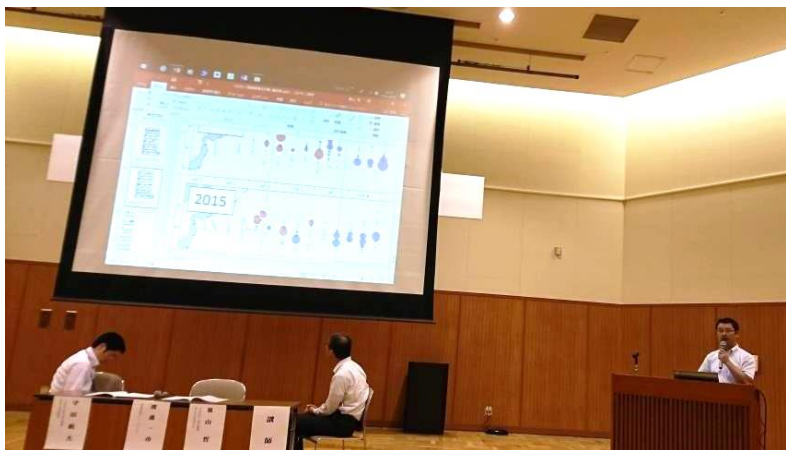


8月4日(土)

「平成30年度水産関係者との意見交換会」が、「サンマとマイワシの最新の資源状態と漁況予報」というテーマで開催されました。一般社団法人漁業情報サービスセンターなど5団体が主催して開催されたもので、市内の漁業関係者など約80名ほどが参加されていました。

水産庁の委託を受け漁業情報サービスセンターが3年前から実施しているものだそうです(根室では初めての開催)。

サンマ・マイワシの長期予報や最新の調査結果、漁況・海況情報について説明し、また実際に各地域で漁業水産に携わっている方々から意見を聞きながら、今後の調査や評価・予報の向上に役立てることを目的に行っているそうです。



### 第54回

## 矢臼別平和盆おどい

8月3日~5日に開催されました。米海兵隊移転訓練が実施されている最中です。全国各地から約450名が参加しました。



講演した各研究機関の説明によると、

- ・調査からサンマの資源量は昨年を上回り、2015年や16年の水準に近いと考えられる。
- ・漁期のはじめは低調だが、9月以降には東側に分布する太ったサンマが来遊すると考えられる。
- ・マイワシは大量に揚がっていた1980年代ほどではないが、安定した資源として、今後も活用できるのではないかと、説明されていました。

また会場からの質問で、今後のサンマ資源の回復に向けた取り組みについて意見がだされ、国際的な漁業規制の動向について専門家が解説しました。それによると、いま日本が漁獲している数量は全体の3割程度でしかなく、減少するサンマ資源を保護するために、中国・台湾ら各国で協力すべき。規制後の将来的な漁獲量の上限は、かなりシロクナ数字になるだろう。現在は各国がその枠の取り合いのため動いている状況、等を説明されました。

## 涼しくしろで避暑生活

### 「ちょっと暮らし」全道一位の 釧路市の取り組みを視察 根室市議会総務常任委員会

8月3日(金)

根室市議会の総務常任委員会(壺田委員長)は釧路市の「移住・長期滞在事業の取り組みについて」行政視察を行いました。釧路市は2017年度の体験移住「ちょっと暮らし」実績で、7年連続道内1位に輝いています。

「涼しくしろで避暑生活」を売りにして、道外の方に長期滞在を呼びかける民間の不動産業者などが中心になった「くしろ長期滞在ビジネス研究会」の取り組みと市行政が役割分担しながら連携をすすめている様子を説明いただきました。

今後は、夏場だけでなく通年の利用を増やしていきたいとしています。

しかし、この優れた取り組みも人口減を食い止める「移住(定住)」には、ほとんど結びついて無いそうです。

釧路市の担当者は、そのためには「釧路にすみたい」と思ってもらわないといけない。移住者だけでなく、何よりいま暮している市民にとって住み良いまち、住み続けたいまちにしていくため、市行政の施策を充実させていく必要がある、と話されていました。



釧路市役所にて。ただし全国的な「猛暑」で、今年は釧路も暑いそうです。